

市民の力で公共サービスを

行政提案型協働事業受託団体を募集

市民協働の魅力あるまちづくりを推進するため、来年度の行政提案型協働事業を引き受ける団体を募集します。

市民活動団体などと市が協働で行う事業のうち、市があらかじめ内容を設定したもので、協働先を公募により決定します。

■**応募団体の要件** 次の全ての要件を満たす団体▼2人以上で構成している▼運営に関する規約や会則があり、予算・決算を適正に行っている▼営利を目的としない

■**対象事業** 表のとおり。詳細は市ホームページを参照

日曜日に特定健診を実施 がん検診と同時に受診も

国保年金課 ☎70・5617か保健医療センター ☎77・1133

日曜日に特定健診とがん検診(胃・大腸・肺・子宮・乳)を同時に受診できる日曜健診を実施します。

▶**実施日** 11月20日(日)受付時間は実施日の1週間前までに案内書で通知▶**場所** 市役所会議室他▶**定員** 120人程度(申込順)▶**期** 9月2日～30日に同センターへ電話か直接▶**その他**▶案内書記載の持ち物や注意事項など確認要▶特定健診は70歳以上の方、市民税非課税世帯の被保険者は負担金が免除されるので、詳しくは市国民健康保険特定健康診査受診の案内を見てください▶がん検診は70歳以上の方、生活保護・市民税非課税世帯の方などは負担金が免除されるので、詳しくは3月に全戸配布した保存版あやせ健康だよりを見てください

項目	負担金	対象者 (年齢は来年3月31日現在)
特定健診	2000円	40～74歳で受診時に市国民健康保険加入中の方
胃	1100円	市内在住で40歳以上の方
大腸	500円	
肺	600円	市内在住の20歳以上で偶数年齢の女性
子宮(器具挿入の細胞診)	900円	
乳	視触診とマンモグラフィー2方向	市内在住の40～49歳で偶数年齢の女性
	視触診とマンモグラフィー1方向	市内在住の50歳以上で偶数年齢の女性
乳エコー(超音波)	900円	市内在住で30～39歳の女性

※大腸がん検診は生理中の受診ができません ※混雑が予想されるので当日は公共交通機関を利用してください ※マンモグラフィーは、授乳中、生理1週間前～終了に受診できないほか、断乳後約6か月は受診できない場合があります ※乳がん検診は、ペースメーカー使用者、乳房内に注入物がある方の受診ができません ※検診車での検診時のみ未就学児対象の保育があります(事前相談要)

行政提案型協働事業一覧

No	テーマ	事業概要	提案課	区分	事業費総額	市負担	実施期間
1	日本語教育支援事業	日本語教室の開催	市民協働課	継続	0	会場の確保	来年4月～31年3月
2	生活支援サービス事業	地域で高齢者の生活支援を実施	高齢介護課	新規	応募団体との協議後決定(通いの場の開催は月6000円、生活支援サービス利用は1時間500円を予定)	事業費全額	来年4月～30年3月
3	「あやせウオークガイド」(文化財マップ)の作成	文化財を巡るコースを調査研究し、利用者のニーズにあわせて作成	生涯学習課	新規	来年度25万円(文化財の調査研究)、30年度125万円(同ガイドの作成)	事業費全額	来年4月～31年3月

■**期** 9月1日～23日に団体名と代表者氏名、連絡先を市民協働課へ直接

■**申し込み後の予定** 9月26日～10月14日、担当課との協議。10月19日、庁内選考会を実施し、採否を決定

救急業務・医療に理解を

9月9日は「救急の日」

救急業務・医療に対して理解と認識を深め、救急医療関係者の意識を高めるため、9月9日は「救急の日」と定められました。この日を含む日(土曜日)の1週間を「救急医療週間」として

しなればならない人のためのもので、昨年の救急出動件数は3772件で、昨年比19.6%増、搬送人員は3599人で、昨年比20.7%増となりました。搬送に至らなかった件数は205件ありました。

必要とする人のために救急車の利用は適正に

救急車は、けがや病気で緊急に医療機関へ搬送

緊急でない人が利用すると、本来に必要とする人の元へ、遠くの消防署から出動することになり、現場への到着が遅れるだけでは

く、全ての救急車が出勤してしまうと救われるべき命が救えなくなる可能性があります。

救急車の誤った利用例

- ・親を病院に連れて行けないので連れて行ってほしい
- ・病院へ行く車が無い(タクシーの代わり)
- ・救急車で早く早く医者に診てもらえる
- ・病院の場所が分からない
- ・必要とする人の命を確実に救うために、緊急性がない場合は、交通機関などを利用してください。

傷病者の様子や事故の状況などから、病院への搬送が必要な場合は、迷わず119番通報してください。

- 消防総務課** ☎76・2133
- 救急車の展示などで適正利用を呼び掛ける**

救急車の展示などで適正利用を呼び掛ける

9月10日(土)10時～15時、綾瀬タウンヒルズショッピングセンター(深谷)で救急フェアを開催します。心肺蘇生法や応急手当の体験ができる他、救急車やミニ消防車の車両を展示します。

緊急時でも適切に対応できる医療体制を整備

けがや病気などで緊急の場合、いつでも、どこでも適切な治療が受けられるように、県保健医療計画に基づき、医療機関の診療時間以外でも受けられる、症状の軽い人への応急処置や重傷者の入院治療などの救急

市職員(行政・行政福祉)募集

国職員課 ☎70・5607

▶**試験区分など** 表のとおり▶**第1次試験日** 10月16日(日)▶**会場** 市役所会議室他▶**採用予定人数** 若干名▶**申し込み**▶期間 9月5日～12日(必着)▶方法 市ホームページから電子申請、簡易書留か直接▶**受験案内・申込書配布**▶職員課(土・日曜日は市民課)、スポーツセンター、中央公民館、各地区センター、寺尾いずみ会館、南部ふれあい会館、図書館(市ホームページからダウンロード可)▶**その他** 詳細は受験案内参照

試験区分(レベルなど)	受験資格	採用予定時期
行政(短大卒程度)	平成7年4月2日～9年4月1日生まれで、学校教育法に規定する短大を卒業(来年3月末までに卒業見込みを含む)か同程度の資格を有する方	来年4月以降
行政(高校卒程度)	平成9年4月2日～11年4月1日生まれで、学校教育法に規定する高校を卒業(来年3月末までに卒業見込みを含む)か同程度の資格を有する方	
行政福祉(大学卒程度)	昭和56年4月2日以降生まれで、社会福祉士の資格を持つか来年3月末までに取得見込みの方	

医療体制を整えています。詳しくは3月に全戸配布した保存版あやせ健康だよりを見てください。

国保健康医療センター ☎77・1133

情報公開・個人情報保護制度

情報公開制度

行政活動の透明性を高めるため、開かれた市政を推進するため、市が保有する行政情報(個人情報などを除く文書他)を請求に応じて公開しています。

昨年度の公開請求は29件(市長19件、教育委員会9件、農業委員会1件)で、公開は29件(うち一部公開23件)でした。市役所2階情報公開コー

ナーでは、行政資料の閲覧、市刊行物の有償頒布を行っているので、利用してください。

個人情報保護制度

個人の権利利益を保護し、公正で民主的な市政を推進するため、市が保有する個人情報の取り扱いについて具体的なルールを定めています。これにより、市が保有する自分の個人情報(開示、訂正、利用停止)の請求することができます。

昨年度は開示請求7件(市長7件)で、開示が6件(うち一部開示6件)、不存在が1件でした。訂正、利用停止の請求はありませんでした。今後個人情報の適正な取り扱いを徹底していきます。